

講義名	会社法（マーケティング学科）			授業形態	
担当教員	森田 理恵	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

**主題と概要**

経済がグローバル化する中で、ビジネスパーソンとして求められる資質・能力も変化している。これら求められる法律知識・リーガルマインドについて、様々な観点から解説する。  
 経済主体の一つである企業を題材として、会社法だけでなく、知的財産法・税法などの関連法規、コンプライアンス・倫理のような現在求められる広範囲の規範について解説し、理解を深める。  
 講義を通じて、社会の全体像を把握し、社会のリーダーとして活躍できる資質・能力を獲得する。ビジネスで想定される具体的な事例を題材とし、法的な課題を設定し、解決策を論理的に組み立てる。

**到達目標**

ビジネスに関する法規等について体系的・系統的に理解できるようになる。  
 現在または将来生じる課題について、自ら問題提起し、法的根拠を用いて創造的に解決できる能力を養成する。  
 ビジネスについて具体的な・積極的な興味を持ち、主体的かつ協働的に取り組むことができる能力を身につける。

**提出課題**

授業内において、数回、小テストの解答・課題提出を求める。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

課題提出締め切り後、授業において、解答・正解例などを提示し解説を行う。また、適宜、質問に答える。

**評価の基準**

授業内に行われる小テストおよび課題の評価 40%、期末試験の評価 60%とする。

**履修にあたっての注意・助言他**

積極的に講義に参加し、自ら問題意識を持って取り組むことを求めます。条文を覚えるのではなく、法律の立法趣旨、運用および社会的状況など広範な理解により、自らのビジネスパーソンとしての能力の向上に努めてください。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.なし。

**その他**

適宜、授業の中で周知します。

**授業計画**

- 1 ガイダンス 法を学ぶ意義、企業の役割等
- 2 企業とは、一 会社の種類、株式会社の特徴、
- 3 所有と経営、株式会社の機関
- 4 株式会社と株主
- 5 企業活動における契約
- 6 企業の資金調達・金融取引
- 7 企業と債権者
- 8 企業と労働者
- 8 企業の成長、再編・清算・再建
- 9 企業と知的財産
- 10 企業と競争
- 11 企業と税
- 12 企業の社会的責任
- 13 企業統治の意義と重要性
- 14 紛争の予防と解決
- 15 まとめ ビジネスにおいて求められる資質・能力

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習 : 授業内で次回授業についての話題を提供するので、各自、内容を把握し自分の見解を持つ（2時間程度）  
 復習 : 授業内で学んだことをまとめ、ビジネスパーソンとして必要な資質について考察する（2時間程度）

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

教職課程（ビジネス法規）の該当科目である。  
 ビジネスパーソンとして、変化の激しい社会で活躍できる資質を培うことを目的とする。  
 具体的で正確な法律知識の獲得とともに、能動的に課題を設定し解決しようとする意識の醸成を目的とする。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

講義形式で行うとともに、適宜、具体的事例について、グループによる調査・ディベートを行う。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**